

風のたより

仙台青陵中等教育学校
第5学年だより NO 16
2020.6.11 発行

教室の窓を開放していると、北側の林から新米ウグイスのあまり上手くない鳴き声が聞こえ、風が爽やかさと一緒に湿気を運んできます。教室では外気とエアコンの風がぶつかり、ジメツとしたり涼しかったりしている中で、生徒たちは一生懸命に学習に取り組んでいます。学校生活のリズムも少しずつ出来てきているように見受けられます。

保護者の皆様におかれましては、土曜日の開催にもかかわらず説明会にご出席いただき、有難うございました。

海外研修旅行保護者説明会

6月6日の土曜日に現時点での海外研修旅行に関する説明会が開かれました。

参加家庭数は合計106家庭（受付チェック数の内訳は1組27、2組26、3組27、4組26）でした。保護者の皆様には、ご参加をいただきましたこと、改めてお礼申し上げます。有難うございました。月曜日には担任から改めて生徒に伝えました。これからのことにつきましては、順次決まりしだい連絡をしていきます。また、今後何か疑問などがありましたら、ご連絡いただければと思います。よろしくをお願いします。



（上の写真は校長の説明の様子です↑）

説明会終了後の担任等一言の際には暖かな拍手をいただき有難うございました。今年度1年間よろしくをお願いします。

また、ご記入いただきましたアンケートですが、休校期間中と始業後の生徒の様子などがよく分かりました。また、具体的な記述（例：奨学金など）については担任が関係部署に連絡をしたり、直接保護者に連絡を差し上げております。健康関係の記述については、養護教諭にも確認をしてもらいました。なお心配なことなどがございましたら、ご連絡いただければと思います。よろしくをお願いします。

中間考査に向けて

来週6月19日（金）から中間考査が始まります。考査を延期している高校もある中で、始業から短期間での考査に不安を持つこともあるかもしれません。しかし、今回は休校期間中の課題等を的確に加味して成績が算出されます。もちろん結果は大切ですが、短期間で学習に集中して考査を受験することで、学習習慣のリズムを取り戻し易くなるというように一つの刺激として考えてみると良いのではないのでしょうか。 気負い過ぎると不安感



が増してしまうこともあるかと思えます。テストテストと考えるよりも、学習しているその延長線上に考査があると捉えてみて欲しいものです。なお、既に一斉メール配信でもお伝えしていますが、6月15日（月）から通常登校、7校時までの授業となります。体調管理をくれぐれもしっかりして貰えると嬉しいです。

上を向いて

コロナ禍以後、あまり上を向くことがないという話を聞く。そのため日本各地の花火師さんが花火を上げたとか、医療関係者に感謝するためにブルーインパルスが東京上空を飛んだというニュースが報じられた。

青陵の上空にも「ひこうき雲♪」が見られました。教科書を読むのも大切ですが、昼休みなど少し空を見上げて深呼吸でもしてみませんか。個人的には時々していますが、気持ちも少しばかり穏やかになりますよ。